

あいむ柏崎

ひと ひと
— 女と男 共につくる希望の未来 —

令和5(2023)年10月5日

第9号

発行 | かしわざき
男女共同参画推進市民会議



寄稿

「なぜ「働き方改革」が必要なのかー改めて考えてみませんか」

株式会社サカタ製作所 代表取締役社長 坂田 匠さん

「地球温暖化に代表される環境破壊を食い止め世界を救う」…というと突拍子もないことを、と思われるでしょう。

地球上には現在約80億人の人類が存在しています。毎年約1億人ずつ人口が増加しています。今の人口を維持する為に必要とされる地球の数は1.7個です。

全人類がアメリカ人と同じ生活をする為には5個、日本人と同じであれば2.8個の地球が必要です。現在でも不足している必要地球個数との差は、地域、貧富格差となり様々な形で紛争の原因となっています。人口が増え、紛争が鎮まることは、必要とされる地球の数が更に増えるということです。1つしかない地球と必要とされる地球の差が環境破壊という形で人類に重くのしかかっているのです。

しかし、人類には希望があります。それは日本です。日本は中国のように強制されることなく自然な形で少子高齢化を迎え人口減少が進んでいます。良くない事は少子化が速すぎて社会体制と国民意識の変化が追い付いていくことです。

「働き方改革」はその速度を緩やかにし、社会全体が無理なく追従が出来るようにすることなのです。世界人口は100億前後でピークを迎え、やがて減少していきます。今、日本で起こっている事が世界規模で発生します。日本は少子高齢化・人口減少という国難を克服し、世界の危機に対する範となるのです。

「先行き不透明な時代」と言われ続けて久しいですが、有史以来人類の歴史において「先行きが透明」だった時代は一瞬たりともありません。しかし、現在ほど「先行きが透明」で、進むべき道が明確な時代は経験がありません。これほど分かりやすい時代にいながらまだわからないとか行動を起こせないのであれば、それは環境のせいではなく自分自身の問題であります。

新潟県長岡市の辺境の地にある金属加工の中小企業 株式会社サカタ製作所。所在地と業種に魅力がない企業の「働き方改革」。もたらされた成果は、売り上げ・利益の大幅な伸び、優秀な人材の確保、健康的で幸せな労働環境、社員の子ども出生率の飛躍的上昇、社員所得の大幅な向上です。勇気をもって行動し、確実に成果を出し続けている企業が近くにあるのです。

企業は小さな社会です。その小さな社会が起こす「改革」は地域社会を変え、やがて日本を動かし世界に影響を与える存在になると信じています。



令和5(2023)年5月20日(土)

<於:市役所多目的室>

株式会社サカタ製作所 代表取締役社長 坂田匠さんをお迎えし、公開講演会を開催しました。

「親子わんだーランド 生き・活き・子育て!」開催しました

令和5(2023)年7月30日(日) 会場 市民プラザ海のホール 参加者250人

災害級の猛暑日に、ひんやりとした会場内は不思議な空間へ模様替え。会場内では所狭しと、多くの親子が「まなび」と「あそび」を体験します。

成長の中でも特に頭の発達に欠かせない「まなび」空間や、心の発達に欠かせない「あそび」空間で、のびのびと思うままに心と体を開放。私達スタッフは年齢の離れた子ども達の言動から、本年も学ぶ機会に恵まれて、多くの情報を得られる数少ない交流の場にすることができました。

子ども達が見るものすべてに興味を抱き、様々な分野で成長するチャンスが与えられるような、幸せな会場内の雰囲気でした。また、子ども達に限らず、子を見守る親やスタッフもさらに笑顔にさせてもらえる連鎖でした。ニュースなどでDVや児童虐待を見聞きする昨今、会場内での風景が、幸せで輝く未来が、この先も続いてほしいと願っております。



～ぱぱだっで～「お父さんと作ろうオムライスとキャベツの千切り七変化」

令和5(2023)年3月5日(日) 会場 市民プラザ料理実習室

講師に 笹川隆司さん(ささ川・中央町)をお迎えし、感染症対策を施した上で開催。6組12名の参加(応募17組)。最初に、玉ねぎのみじん切りに目を潤わせ、次に、親子仲良くハムケチャップライスを炒め、王道のふわっふわの卵を丁寧にキレイな形に仕上げて出来上がりました。皿の上にのせたときの子どもさんの満面の笑みは忘れられません。

